



<http://www2.hama-med.ac.jp/w3a/toshokan/homepage.html>

今回は、論文の最後に記載されている「参考文献」の読み方を説明します。

参考文献の記載については、それぞれの規定により多少の違いはありますが、基本的に、以下の内容が含まれています。

★ 雑誌では 1. 著者名 2. 論文タイトル 3. 雑誌名 4. 巻(Vol.) 5. 号(No.) 6. 発行年 7. 開始ページと終了ページ が書かれています。

★ 単行本の場合は、1. 著者名あるいは編者名 2. 書名 3. 出版社名 4. 出版年 が書かれています。

※ 単行本は 第一章のようにある一部分だけ引用されていることもあるので、その場合は、1. 引用した部分の著者 2. 引用した部分のタイトル 3. 単行本の著者・編者 4. 単行本のタイトル 5. 出版社名 6. 出版年 7. 引用した部分のページ が書かれていることが多いです。

上記をふまえた上で、下記の例で具体的に説明します。

例

日本内科学会雑誌 95(5) p899-907 より

中枢作用が相補うかた ている。 の臨床的意義 主として心房、心室か ンとして水電解質代謝 な分泌刺激は心筋細胞 中濃度は右心房圧と正 面に直接的に結びつき、 のdry weightの設定や て有用である。心不全	治療選択が可能となる。 文 献 1) 安藤明利, 他: 水代謝調節障害. 日内会誌 92:714-719, 2003. 2) Fuller PJ, Young MJ: Mechanisms of mineralocorticoid action. Hypertension 46: 1227-1235, 2005. 3) Dluhy RG, et al: Endocrine hypertension. Larsen PR, et al, eds. Williams Textbook of Endocrinology, 10th Ed. Saunders, Philadelphia, 2003, 552-585. 4) 向山政志, 他: Na利尿ペプチド. 腎と透析 57:497-502, 2004.	③ 和雑誌 ② 洋雑誌 ① 単行本
--	--	-------------------------

① 和雑誌の例

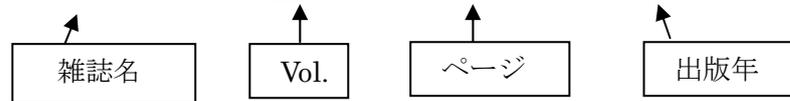
1) 安藤明利, 他. : 水代謝調節障害. 日内会誌 92 : 714 - 719, 2003.



② 洋雑誌の例

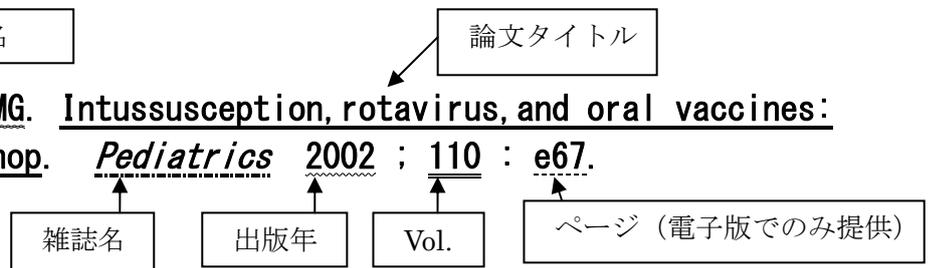
2) Fuller PJ, Young MJ : Mechanisms of mineralocorticoid

action. Hypertension 46 : 1227 - 1235, 2005.



この例の中には含まれていませんが、最近では電子版でのみ提供されている論文もあります。その場合は例のように、ページの前に Electronic Journals の頭文字の e がページの前に付いています。

17. Peter G, and Myers MG. Intussusception, rotavirus, and oral vaccines: Summary of a workshop. Pediatrics 2002 ; 110 : e67.



③ 単行本の例

3) Dluhy RG, et al : Endocrine hypertension. Larsen PR, et al, eds.

Williams Textbook of Endocrinology, 10th Ed. Saunders, Philadelphia,

2003, 552-585.

